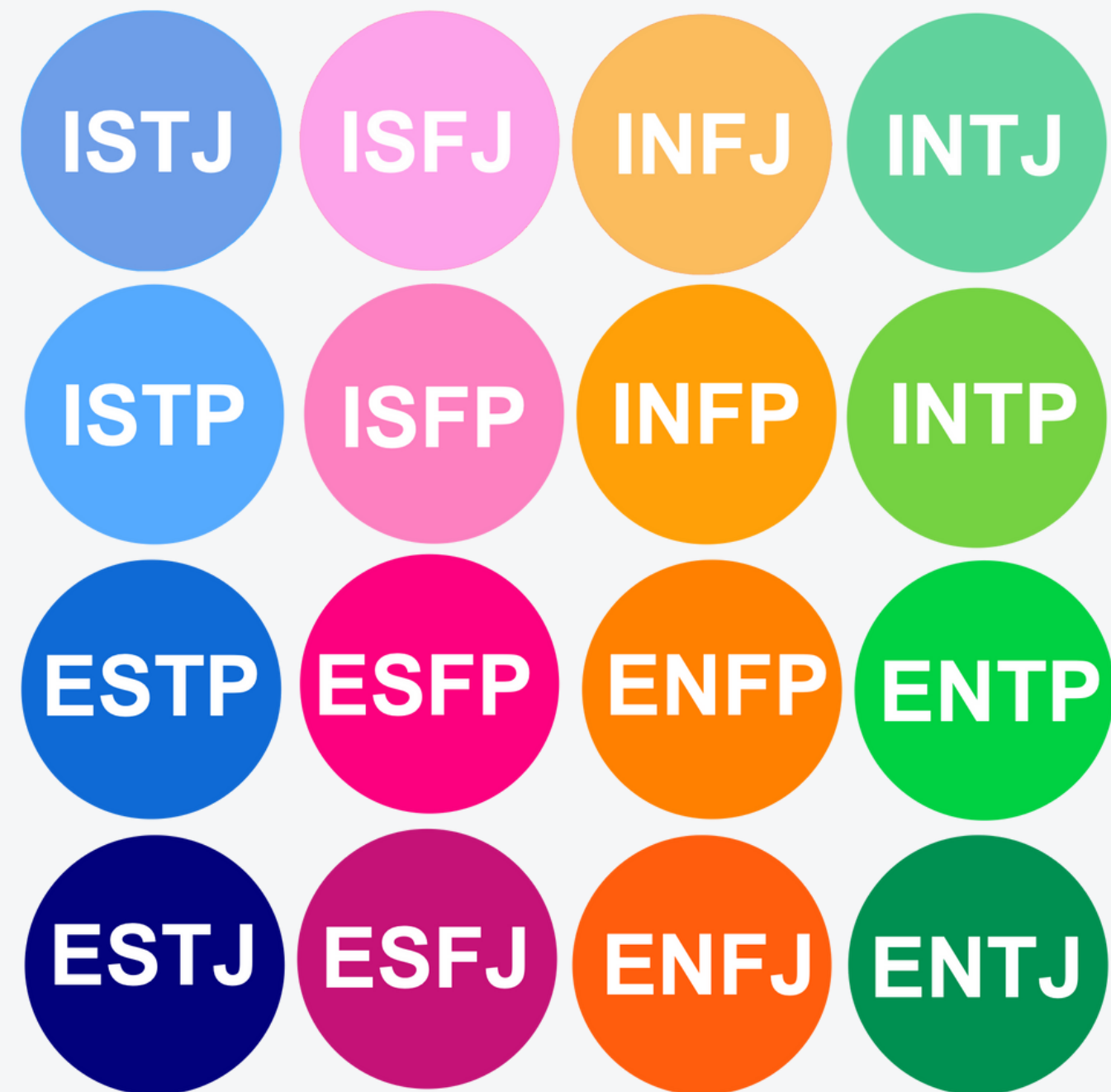




16Type株式会社

16タイプ診断研修 説明資料

2025年9月



16タイプ診断の目的

16タイプ診断の目的は、受講者の皆様のタイプを特定し、自己理解と他者理解に役立てることにあります。

日本人は海外の方と比較して、ペルソナ(※)が厚いと指摘されています。そのため、なかなかタイプを特定できない方もおられますが、それもまたプロセスの一部です。タイプが分かるとチームの傾向と特徴、意思決定のパターンが分かります。

※ペルソナとは？

他人の前で見せる「仮面」や「役割の顔」のことです。

家庭での顔、職場での顔、友人の前の顔など、人は場面ごとに自然と使い分けています。

16タイプ診断の流れ

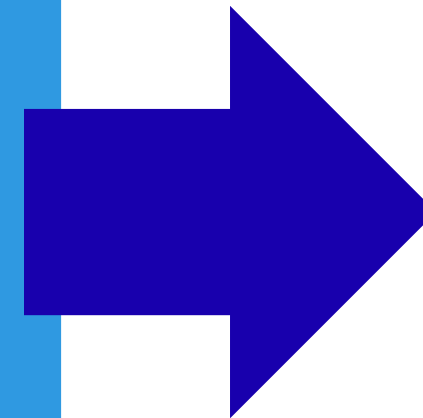
E S T J
I N F P

STEP 1 E / I の説明

STEP 2 アクティビティ
& ディスカッション

STEP 3 タイプ特定

STEP 4 4文字確認
自分のタイプの説明を読む



STEP 1～3を

**4 カテゴリー
繰り返す**

- ① E/I (外向/内向)
- ② N/S (直観/五感)
- ③ T/F (思考/感情)
- ④ J/P (判断/知覚)

アクティビティ & ディスカッション

J (判断) / P (知覚) の例

J/Pの説明



アクティビティ



アクティビティ & ディスカッション



行動特性を見る

※ 4つ目の文字(J/P)の
違いを見る例



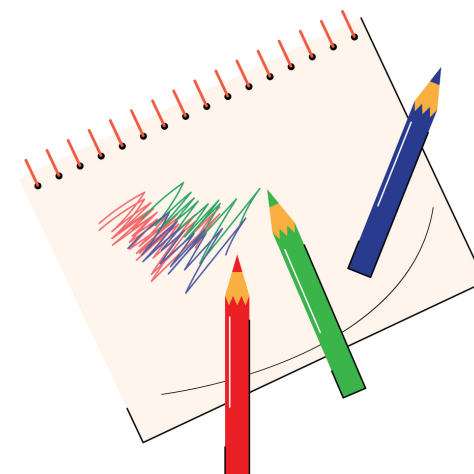
J (列を揃える)



P (自然なポジショニング)



アイテムを使う



ゲーム感覚で楽しめるアクティビティをご用意しています！